



横浜市立岡村小学校・学校だより R2.5.11 学校ホームページURL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/>

## \*子どもたちへ

“心も体も元気な岡村っ子”として『創意・工夫』しながら臨時休業期間を過ごそう。

校長 斎藤 有厚

連休明けの5月7日の学校再開が、6月1日まで延期となってしまいました。首都圏を

中心に、新型コロナウイルス感染症が終息しない状況が続いているためです。国内の感

染者数は1万5000人を超え、死亡者数も560人に迫ろうとしています(5/3現在)。とても怖い

病気です。しかし、今、世界の研究者が、この病気を治す特効薬・ワクチン開発に真剣に取り

組んでいます。「人間の歴史は、『ウイルスによる感染症との戦い』であった」とする歴史

学者の言葉を読みました。そして、「人間はその戦いに勝ち続け、苦しい時代を幾度も乗り越

えてきた。必ず、この感染症は人間の創意・工夫で終息する。」と結んでいました。早くそ

の日は来ることを願って、3密を避ける、手洗い・咳エチケットマスク、早寝早起きなど、自分

を守り、友だちや家族を守る“行動基準”に従って行動しましょう。

さて、不要不急の外出を避け、自宅で過ごす日が続きます。この機会に、自宅での生活や

学習を見直してみましよう。『創意・工夫』することで、マイナスをプラスに変え、自分の

生活力、学習力をアップできるチャンスになるはずです。「岡村っ子カレンダー」を新たに配

ります。また、「おかむらノート」や「学校図書室の本の貸出」などをスタートします。

お家の人と、よく相談をして、アドバイスをいただいて、上手に過ごしてください。

「\*子どもたちへ」-学校だより春休み号、4月号に引き続き、子どもたちへのメッセージを書くこととしました。

## 保護者や地域の皆様へ

電子情報システムによる保護者調査や家庭訪問から見えてきたこと～子どもたちの家庭での過ごし方の点検・見直しをお願いします。～

校長 齋藤 有厚

横浜市教育委員会 5/5 付通知で「学校再開は6月1日」となりました。新型コロナウイルス感染症の終息状況が見えない以上、やむを得ない決定であろうかと思えます。一方で、先日、実施させていただいた電子情報システムによる保護者調査（延べ178名からご回答）、家庭訪問での子どもや保護者様からの声等により、子どもたちの生活や学習についての課題が見えてきました。次のとおりです。

### 《保護者調査から》

- ・一日の勉強時間は、1時間未満・1時間程度が全校で70%強。
- ・子どもが自主的に学習に取り組んでいる家庭は46%、保護者の指示や助言が必要な家庭は46%。
- ・学校から与えられたプリント等は量が少ない。すぐに終わってしまうとの回答61件。
- ・NHKのEテレビを利用している家庭は13%。市教委作成の動画配信を利用している家庭は15%。  
インターネット環境が整わず、利用が難しい。低学年の子ども自身の利用は難しいとの指摘もあった。

### 《家庭訪問から》

- ・終息の見通しが見えないのが不安。学校はいつから再開できるのか。
- ・生活習慣が乱れている。保護者が働きにでるので監督が行き届かない。
- ・学習の遅れが不安である。どのように補充できるのか。
- ・運動不足が気になる。成長期の子どもが、体を動かさずにいることは心身ともによくない。

以上の状況を改善し、学校再開後の生活や学習を順調に迎えられるように、学校としてできることを4点にまとめました。保護者の皆様のご理解・ご協力が必要です。どうぞ、よろしくをお願いします。

ア. 生活習慣の立て直しを図りたい。…一日のスケジュールを記録する「岡村っ子カレンダー」を配布します。カードの中に早寝早起き、食事の習慣、歯磨きなどを設定します。

イ. 運動機会を作りたい。…ラジオ体操（NHK テレビ活用）は、「岡村っ子カレンダー」の中に設定します。短縄跳び練習カードを配布します。

ウ. 学習時間を増やしたい。学習内容を広げたい。…「岡村っ子カレンダー」の中に、学習スケジュールを設定します。おかむらノートや図書貸出等をスタートします。

エ. 家庭での役割を増やしたい。…「岡村っ子カレンダー」の中に、お手伝いの取組を設定します。

5月13日（水）からの三日間の「子ども・保護者と担任がつながるデー」期間に、岡村っ子カレンダー、学校だより、家庭学習の教材（プリント、カードなど）をお渡しします。その折に、それまでの家庭学習の教材等を回収します。不明な点があれば、学校へお尋ねください。電話752-3443。なお、別頁の「子どもたちの家庭での生活、学習のススメ」で、ア～エの具体例を上げて説明します。参考にしてください。

## 学校だより「けやき」令和2年5月号特集

### ☆☆☆子どもたちの家庭での生活、学習のススメ☆☆☆

～自ら目標を立てて、粘り強く取り組む岡村っ子を育てるために～



※ この文章は、昨年度の学校だより6月号に、特集として掲示した「☆☆☆☆家庭学習のススメ！☆☆☆☆～粘り強く学習に取り組む岡村っ子を育てるために～」を、本年度の臨時休業の延長に特化し、子どもたちの家庭での生活や学習を支援するために、加筆・修正したものです。

## 1. 「岡村っ子カレンダー」を使って、一日の計画を立てて、心身ともに健康に過ごす習慣を応援してください。

例えば、以下のような一日の計画が立てられるとよいと思います。学齢によって、あるいは、それぞれのご家庭によって条件は異なるかと思いますが、子どもたちと話し合い、無理のない計画を立てさせてください。週末には、保護者様から「お褒めの言葉や励ましの言葉」を添えてサインしていただくと、子どもに達成感が沸き上がると思います。大切なことは、自分で自分の生活や学習を計画し、粘り強く取り組む力を育むことです。

午前7時	8時	9時	11時	12時	午後1時	3時	5時	7時	8時	10時
起床	朝食	勉強	休憩	昼食	勉強	休憩	読書	夕食	休憩	就寝
運動	お手伝い		運動	お手伝い		運動	おかわらノート	入浴		

特に、「お手伝い」を上手に設定してください。これも、学齢によって、あるいは、それぞれのご家庭によって条件はことなるかと思いますが、安全等に配慮して、内容を検討してください。

「自分の持ち物は自分で片づける」「掃除を手伝う」「植栽に水をまく」「新聞受けから新聞を取る」

「自分の洗濯物をかごに入れる」「洗濯物を洗濯機に入れて、スイッチを押す」「洗濯物を干す」

「洗濯物を取り込む」「洗濯物をたたむ」「自分のくつを洗う」「雨戸を開ける」「戸締りする」

「お箸やお茶碗を並べる」「食事の後、流しへ食器を運ぶ」「いっしょに料理やおやつを作る」

「ペットの世話をする」「玄関のくつを並べる」「くつを磨く」「ゴミ捨てを手伝う」…など。

## 2. 「勉強の時間」を一日2～3時間できるように応援してください。

4月から続いている臨時休業が5月31日まで延びたことは、例えば、夏休みや冬休みを登校日としたとしても、本年度の年間学習計画の内容を全て履修することは、非常に難しい状況となる恐れがあります。増して、新2年生以上は、前年度の未履修分の学習からスタートする必要があります。よって、臨時休業中も、新しい教科書やドリル等を使って、可能な範囲で学習を進めることが求められます。

5月13日以降の家庭学習が充実したものになるように、各担任や専科教員が、教科書に準拠した学習プリントを、子どもたちが自学できることをイメージしながら用意します。国語科や算数科等の主要教科に加えて、体育科、音楽科、図画工作科、家庭科、特別活動なども作成を試みています。とは言っても、子どもたちが理解できないとき、やる気が起きないときがあるかと思いますが、保護者様の助言、励まし等をお願いします。もちろん、不明な点があれば、学校へお尋ねください。なお、子どもによって、早く終わってしまう場合も生じるかと思いますが、そんな折には、教育委員会の動画サイト、NHKのEテレビ等の活用も検討してください。また、お手伝い同様、図画工作科ではさみを利用する、家庭科の調理実習で火を扱うなどの場合は、保護者の管理の下に活動できるようにご配慮をお願いします。

### 3. “おかむらノート”（自由研究ノート）の取組を応援してください。

“おかむらノート”は、平成28年度後半から始めた家庭学習の試み（校長の企画）です。「自主学習力を高める」「ノートの使い方が上手くなる」「教科書には載っていない様々な問題へ興味・関心を広げる」

「子どもと保護者、子どもと担任、保護者と担任の絆を深める」など、大きな成果を挙げてきました。例年、5月末に実施している岡村オリンピック（運動会）終了後に、スタートしている取組ですが、この機会に始めることとします。なお、PTA役員会で了承をいただき、使用するノートを一冊ずつ配布します。二冊目からは、各家庭で購入をお願いします。表紙のシール等は、学校で用意します。

“おかむらノート”の取組について、概要を説明します。取り組む内容は、基本的に自由です。各ご家庭で子どもと話し合っ決めてください。「子ども自身が決めること」、「字を丁寧に書くこと」「ノートのマス目を使って、きれいにまとめること」を大切にしてください。一日、ノート半ページから1ページ程度のペースです。取り組んだ月日をノートの端に書かせてください。なお、“おかむらノート”で取り組んでいることを、授業とつなげることを考えています。よって、担任から取り組んで欲しい課題を紹介したり、“おかむらノート”の取組を授業の中で子どもに発表してもらったり、積極的に活用することを予定しています。以下のコラムに、「“おかむらノート”の自由研究テーマ」を紹介します。参考にしてください。また、学校再開後の実施となりますが、ノートは、月曜日の朝に担任へ提出し、担任がコメントを記入し、週末までに子どもに返却します。保護者の皆様も積極的にノートにチェック（コメント記入など）をお願いします。年に2回、校長も全ての“おかむらノート”を読ませてもらい、コメントを記入する予定です。

#### 【コラム「おかむらノート」の自由研究テーマ】



読書（好きな作家など）、調べ学習（歴史など）、絵画、栽培、料理、お手伝い…

子どもの「やりたい。知りたい。」の気持ち大切です。左のイラストは、昨年度の取組例です。また、生活科、理科や社会科、外国語活動の教科書等の中に、ヒントがたくさん埋まっています。参考にしてください。動画サイトの視聴メモなどもOKです。

### 4. 読書を楽しむ時間を継続的に確保してください。

例年、学校図書室の利用に力を入れてきました。一昨年度は、全校貸出冊数が1万冊を超えました。子ども一人当たり30冊程度、貸出を受けたこととなります。そこで、臨時休業期間に、本の貸出を始めます。なお、新型コロナウイルス感染症の防止のため、次のルールに従って実施します。

- ① 貸し出す本を学校ホームページにアップします。貸出は5月中に2回実施。
- ② 電話（☎752-3443）で借りたい本を予約してください。その上で、職員室へ取りに来てください。親子で来ていただいても、緊急受入れ、運動場開放の機会を利用いただいても構いません。
- ③ 1週間後までに、返却ボックス（職員玄関脇）へ返却・投函してください。学校で消毒を行い、中2日後に、再度、貸出可能とします。本は、専用のバックに入れて貸出を行います。

#### 【コラム「読書習慣の形成」の大切さ】



例年、年度末に実施している横浜市学力・学習状況調査から、「読書の大切さ、読解力の育成の必要性」が見えてきました。『読書をしない子』に、国語の学力に課題がある場合が高い」「国語の学力と算数の学力の相関が高い。小学校期では、国語の学力の高い子が、算数の学力も高い」などです。また、著名な国語学者は、「国語の授業だけでは、国語の学力を養うことは難しい。如何に様々な本と出合わせ、子どもの読書量を増やすかが命題である」と言っています。やはり、子どもには、読書習慣の形成が大切です。